

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	08 04 18	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部 園芸畜産課	
事業名	実需者ニーズ創出型産地育成事業				内 線	4842	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~ H23	根拠法令等	実需者ニーズ創出型産地育成事業実施要領				
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	国庫補助事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	農家と企業の結びつきにより新たな需要を創出するとともに、実需者の求める「こだわり」に対応できる産地を育成し、また契約的な取引等の推進により、安定した農家所得が確保できる「出口(売り先)」の見える産地を育成する。				
	対 象	農家・産地及び企業				
	目指すべき姿	1. 企業との結びつきによる新たな需要を創出 2. 企業が求める「こだわり」に対応できる産地の育成 3. 契約的な取引の推進による農家所得の向上				
	事業内容	1. 農産物需要創出コーディネーターの設置 2. 農家と企業とマッチング 3. 企業を対象とした産地見学会の開催				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)		千円	17,252	15,463	-	
	決 算 額 (B)		千円	15,346	15,091	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	0	0	-	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	-	
	概算人件費 (C)	千円	8,317	8,258	-		
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	23,663	23,349	-	ふるさと雇用分(13,091千円) 人件費:6,607千円、消耗品:449千円、 リース料:1,472千円、その他:4,563千円  緊急雇用(2,000千円) 人件費:1,978千円、その他:22千円	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	商談成立件数(成)	件	31	46	-	
	産地見学会の開催(活)	回	1	4	-	
	フリーペーパーを通じた商品案内(活)	回	1	12	-	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 商談成立金額/総事業費		0.96	1.19	-	
・首都圏及び近畿圏の高級レストランなどへの需要調査及び提案(7回) ・商談会でのPR(4回) ・栄村特産物の復興支援(1回) (効率指標 算出式) 商談成立金額/総事業費 計:36,529千円 商談成立金額 H22:14,761千円 H23:21,768千円						

  

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価				評価区分
	・農家、産地と企業の結びつきによる新たな需要を創出 (取引成立目標件数:10件)		農産物需要創出コーディネーターが培ってきた経験や人脈、また産地見学会を通じ、商品PRを行った結果、目標以上の結果となった。 取引成立件数:46件 取引成立金額:6,155千円				<b>b</b> 期待どおり

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 (完了)	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・農産物コーディネーターが培ってきた経験、人脈と県の後ろ盾による信用度増加、現地機関など関係機関による技術的なバックアップ体制により目標数値を上回る商談成立件数となった。 ・今後は、コーディネーターが収集したデータと商品提案書などを農業技術課の「食品産業タイアップ産地育成事業」に引き継ぎ需要のある(売れる農産物)産地形成を目指す。				
	特記事項					